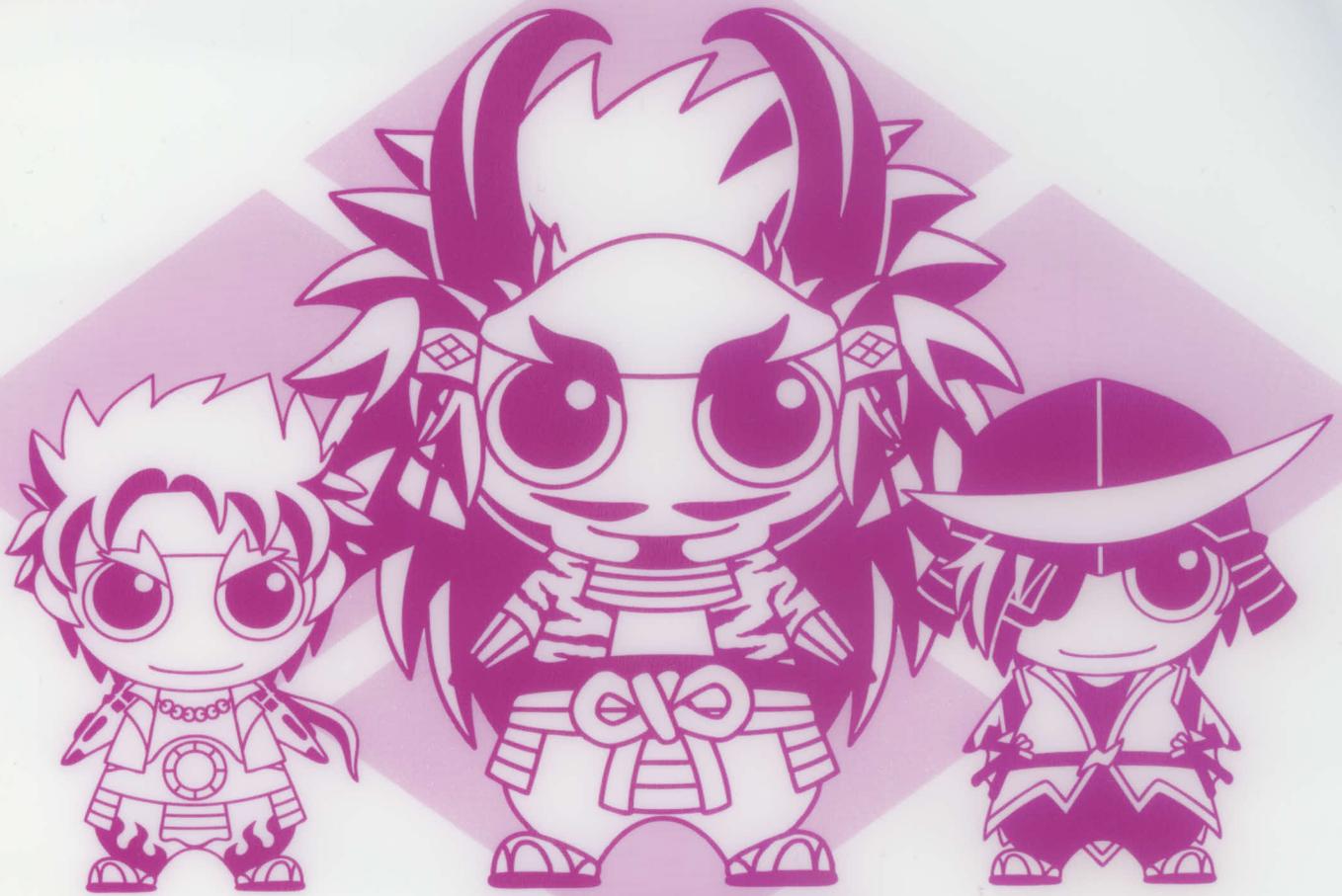


# KOFU 500th Anniversary! こうふ開府500年!

甲府は2019年に開府500年を迎えます。

KOFU



幸村くん

YUKIMURA SANADA

こうふかんこうPRおうえん団長

信玄くん

SHINGEN TAKEDA

政宗くん

MASAMUNE DATE

## Information



こうふ開府500年  
1519-2019

こうふ開府500年

特設サイトはこちら



[www.kofu500.com](http://www.kofu500.com)

甲府市観光課

TEL 055-237-5702

甲府市観光協会

TEL 055-226-6550

甲府市観光情報はこちら



[www.kofushingen.jp](http://www.kofushingen.jp)



こうふ開府500年  
1519-2019

# 甲府市

やかた あと

# 武田氏館跡歴史館

## 信玄ミュージアム(愛称)

### 平成31年4月5日 オープン!!

# 甲斐の府中

# 甲府へのいざない

開府500年のこの年  
武田家の歴史をあらためて知る  
甲府の今がさらに好きになる

# 甲府市武田氏館跡歴史館

戦国大名武田氏三代が居住した史跡武田氏館跡の歴史や調査成果を紹介する新たな施設が誕生します。

総合案内



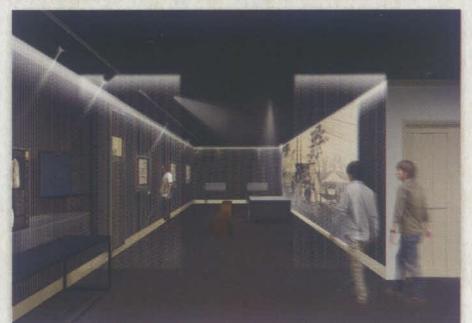
館から見渡した甲府の町が壁面いっぱいに広がります。

常設展示室



歴史をわかりやすく学べます。

特別展示室(有料)



シアター空間では、新たなイメージの信玄公に出会えるかもしれません。



施設全体の完成イメージ

館名：甲府市武田氏館跡歴史館

オープン：平成31年4月5日(金曜日)

所在地：〒400-0015 山梨県甲府市大手三丁目1番14号

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：火曜日(祝日の場合はその翌日) 12月29日～12月31日  
その他、臨時開館・休館あり

観覧料(特別展示室)

	一般	高校生以下
個人	300円	無料
団体(20人以上)	240円	

交通アクセス 駐車台数には限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

自動車利用の場合  
中央自動車道甲府昭和I.Cからアルプス通り経由で約20分

JR利用の場合  
JR 甲府駅(北口)からバス利用で約10分  
(山梨交通「武田神社」行または「積翠寺」行にご乗車ください。)



甲府市武田氏館跡歴史館 平成31年4月5日 オープン

お問い合わせ先 甲府市教育委員会 歴史文化財課 TEL.055-223-7324

赤  
スパークリング  
新登場

*New*

¥2,500 (税込)



こぶ開府500年  
1519-2019

2019  
1.1 *tue*

The 500th anniversary of  
the foundation of Kofu.

甲府市産ぶどうと武田神社で採取した酵母を使用した  
オール甲府市産のスパークリングワイン。昨年好評だった  
白に加え、今年も赤もお披露目です。開府500年の年を  
華やかに盛り上げます。 [www.city.kofu.yamanashi.jp](http://www.city.kofu.yamanashi.jp)

¥2,500 (税込)

裏面も check 

# 祝!「こうふ開府500年」 甲府 Sparkling

## “甲府は日本ワイン 発祥の地

やまだひろのり たくまのりひさ  
明治3~4年頃、山田宥教氏と詫間憲久氏が日本で初めて、甲府市でぶどうの果汁をアルコール発酵により醸造したという記録があります。つまり、日本ワインの発祥の地は甲府市なのです。



## “それから約150年の時を経て、 オール甲府のワインが誕生

日本ワインが甲府で初めて創られてから約150年。「日本ワイン発祥の地 甲府」からぶどうも酵母も醸造元もオール甲府のスパークリングワイン「甲府 Sparkling」が誕生! ※「甲府 Sparkling」の開発秘話が右のQRコードから「マンガ」でご覧いただけます。



「甲府 Sparkling」の開発秘話は下のQRコードから読み取ってください。



2019年1月1日!  
Kofu Sparkling 白 に引き続き

Kofu Sparkling 赤 が  
新登場!



新たに誕生した赤のスパークリングワイン「甲府 Sparkling マスカット・ベリー A、アリカント 2018」と、昨年好評を博した白のスパークリングワイン「甲府 Sparkling 甲州 2018」の2本が同時に発売! こうふ開府500年を迎えた2019年を赤と白のスパークリングワインで乾杯しましょう。

※ご購入に関しては、「甲府 Sparkling マスカット・ベリー A、アリカント2018」は、ドメーヌQに、「甲府 Sparkling 甲州 2018」はサドヤにそれぞれお問合せください。

赤の醸造元

ドメーヌQ

☎055-233-4427 ●どめーぬきゅー

「甲府 Sparkling マスカット・ベリーA、アリカント2018」を開発したワイナリー。日本では栽培が難しいといわれるピノワールを自社畑で100%栽培。

併設のレストランでは、昔ながらのピフテキも味わえます。

📍甲府市桜井町47 🚗JR甲府駅から車で約20分 📺ワイナリー見学無料(所要約40分、要予約) 🕒11~17時 🔥火曜 📄P100台



\* 開発者に聞きました!



ドメーヌQ  
久保寺慎史さん

Q 開発にこだわったポイントは?

A. まず、赤ワインのしっかりとした色を出すことにこだわりました。そして、低温でゆっくりと醸すことにより、その芳醇な香りを閉じ込めています。

Q どのような味わいですか?

A. フルーツ的な味わいで、果実の味をしっかりと感じるができます。とても華やかで、おいしいスパークリングワインに仕上がりました。

Q オススメの食材は?

A. ワインが華やかな味わいですので、赤身の肉や、あぶらのつた魚、さらに卵料理といった濃いめの料理がよく合います。素敵なダイナーのお供に最適です。

白の醸造元

SADOYA

☎0120-25-3108 ●さどや

「甲府 Sparkling 甲州 2018」を開発した、大正6年創業の老舗。ワイナリーや地下ワインセラー、レストランなどが広大な敷地に点在。ワイン試飲を含む見学ツアーも実施しています。

📍甲府市北口3-3-24 🚶JR甲府駅から徒歩5分 📺見学ツアー 500円 🕒10時~11時~、13時~14時~、15時~16時~(所要約40分、定員各20名) 🔥無休(繁忙期は不定休あり) 📄P60台



\* 開発者に聞きました!



SADOYA  
村松幸治さん

Q 開発にこだわったポイントは?

A. 甲府市と山梨大学が共同研究により得た酵母、そして爽やかな酸味の甲州のぶどうの良さを、素直にワインの味に出すことにこだわりました。

Q どのような味わいですか?

A. とてもやさしくて繊細、それでいて、しっかりとしています。パワフル系とは違って、例えると「日本食でダシが上品に効いている」ような味わいです。

Q オススメの食材は?

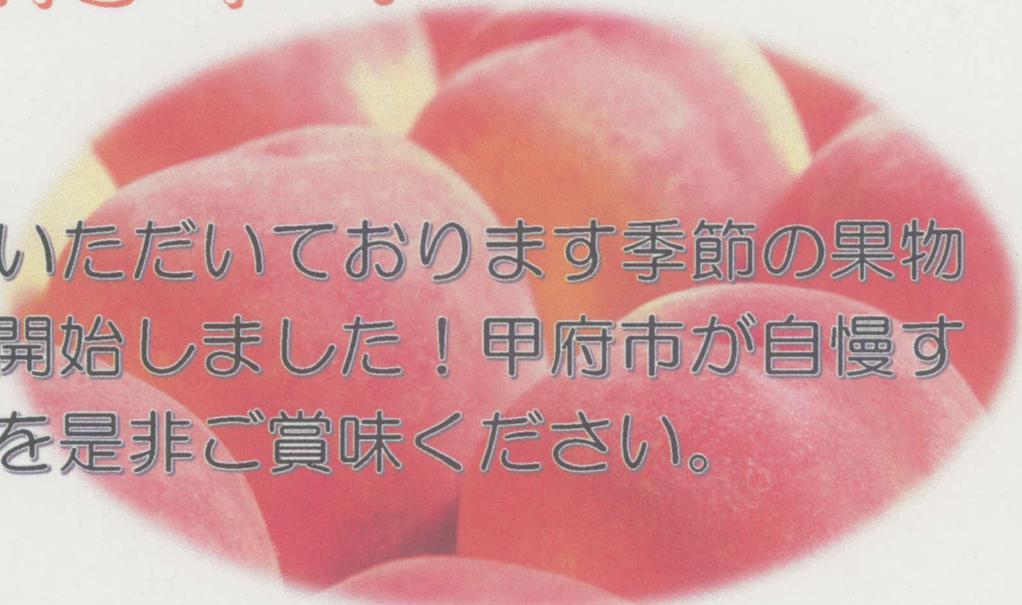
A. 和食が合うワインだと思います。ワインも和食もやさしい味ですので、主張し合わず相性が良いです。ぜひ、スパークリングワインで乾杯してください!



甲府市ふるさと納税

大人気、季節の果物

先行受付中！



毎年、ご好評いただいております季節の果物の先行受付を開始しました！甲府市が自慢する特産品の味を是非ご賞味ください。

※数に限りがあります。

お問い合わせ



こうふ開府500年  
1319 - 2019

甲府市役所企画部企画総室総務課

電話番号：055-237-5264（直通）

メールアドレス：[kksoumu@city.kofu.lg.jp](mailto:kksoumu@city.kofu.lg.jp)

甲府市 ふるさと納税

検索



つなぐ歴史 かがやく絆 こうふ開府500年



# KOFU CITY Instagram



郷土食 おざら

甲府市の公式インスタグラム。  
マジ(本気)でやっています。

アカウント名:【公式】山梨県甲府市  
ユーザーネーム:kofu\_official

QRコード読取りで簡単アクセス→





# 蘇る、こうふの500年

学んで、知って、甲府がわかる。

こうふ開府500年記念事業



## こうふ開府500年 常設展示メモリアルギャラリー

2018.9.21 FRI — 2020.3.31 TUE

甲府駅北口ペDESTリアンデッキ 特設会場

開催期間中／午前9時～午後6時

お問い合わせ先

こうふ開府500年記念事業実行委員会

甲府市企画部記念事業室内（市役所本庁舎6階）

電話／055-237-5321

ZONE 1 / こうふ開府 武田の時代 ZONE 2 / 江戸時代 甲府城と城下町  
ZONE 3 / 明治・大正・昭和（戦前） ZONE 4 / 戦争の時代から復興へ  
ZONE 5 / そして未来へ・・・NEXT100  
甲府観光案内・こうふ開府500年記念事業イベント案内  
クイズ甲府の達人、10問チャレンジ

Kofu KAIFU 500 Memorial Gallery

## ZONE1 「こうふ開府 武田の時代」

群雄割拠の戦国時代、武田信玄公の父・信虎公は、躑躅が崎の地へ館を移し甲府が誕生しました。武田氏三代の繁栄から滅亡までをジオラマなどとともに紹介し、100年前に作られた信玄公像の展示、武田二十四将クイズなどでお楽しみいただけます。



武田信虎 (大泉寺所蔵) 武田信玄 (武田神社所蔵) 武田勝頼 (法泉寺所蔵)

## ZONE2 「江戸時代 甲府城と城下町」

およそ400年前に、豊臣秀吉配下の浅野長政・幸長父子などにより築城された甲府城を中心とした甲府城下町及び繁栄した柳沢氏とその後の幕府直轄地の時代を、AR(拡張現実)・VR(仮想現実)のコンテンツや「時の鐘」の模型とともに紹介します。



## ZONE3 「明治、大正、昭和 (戦前)」

明治維新、甲府市の誕生から、太宰治が「甲府は、もっとハイカラである。シルクハットを倒さまにして、その帽子の底に、小さい小さい旗を立てた、それが甲府だと思えば、間違いない。きれいに文化の、しみとおっているまちである。」と評した、太平洋戦争が始まる前までの時代を紹介します。



市制施行当時(明治22年)の市庁舎

## ZONE4 「戦争の時代から復興へ」

終戦間近の昭和20(1945)年7月6日から7日にかけての、「たなばた空襲」により市域の74%が焦土と化し、甲府の古き良き時代の面影や多くの人命が奪われました。終戦直後、戦災復興局が設置され、甲府市民一丸となって復興に立ち上がります。平和通りや駅前広場などの基盤整備が行われた時代を、当時の写真とともに紹介します。



甲府空襲

## ZONE5 「そして未来へ NEXT100」

「中核市・甲府」が誕生する平成31(2019)年に、甲府は記念すべき開府500年という歴史的な節目を迎えます。500年という長きに渡る歴史を持つ甲府には、リニア中央新幹線の開通やプロサッカークラブであるヴァンフォーレ甲府の活躍など、明るい未来が待っています。



## 甲府の観光紹介エリア

「こうふ開府500年×戦国BASARA」にて甲府の観光ガイドを楽しめます。巨大な戦国BASARAの信玄公と撮影し、SNSで発信しよう！  
#BASARA こうふ開府500  
#甲府駅メモリアルギャラリー



## 楽しい仕掛けが！

目指せ達人！「クイズ甲府の達人、10問チャレンジ」  
会場内に甲府に関するクイズが隠れているよ！  
探して見つけて答えよう！





こうふ開府500年  
1519 - 2019

# つなぐ歴史 かがやく絆 こうふ開府500年

甲府市・こうふ開府500年記念事業実行委員会

- 「美味しさ」「楽しさ」「美しさ」を「健康」
- こうふ開府500年記念事業  
メインスポンサー
- オキノ
  - 長田組土木
  - 甲斐日産
  - 久吉守屋グループ
  - キリンビール株式会社山梨支店
  - 藤二誠
  - 山梨県民信用組合
  - 山梨信用金庫 (50音順)
- 松板屋
  - 千代田セレモニークラブ
  - 早野グループ HAYANO GROUP
  - ふれあい、さわやか 山梨中央銀行
  - 山梨トヨタグループ
  - Ysk e-com
- SUNTORY
  - あなたのいちばんメディア 山梨YBSグループ
  - jit ジットグループ

甲斐の府中「甲府」は、  
武田信玄公の父、武田信虎公が  
1519(永正16)年に今の武田神社の地、躑躅(つつじ)が崎に  
館を築き、城下町を整備したことから始まりました。

2019年、開府500年という佳節を迎えるにあたり、  
これまで先人たちの知恵と絶え間ない努力により  
脈々と受け継がれてきた甲府の歴史・伝統・文化・自然を  
市民一人ひとりが改めて振り返り、  
次の世代へ引き継いでいくとともに、  
甲府市を訪れる方々にも、その魅力を充分に感じていただけるよう

「過去に学ぶ」

「現在(いま)を見つめる」

「未来につなぐ」を基本理念とした

「こうふ開府500年記念事業」に取り組んでいます。



### ｜ ロゴマークの説明 ｜

甲府のシンボルともいえる武田菱を結び目に見立て、人と人、心と心を結ぶ象徴である「水引」を図案化。5本のラインは「開府500年」を示し、結び合い上方へ伸びゆくフォルムは、過去・現在・未来、多彩な伝統・文化、豊かな自然等を有機的に結びながら「歴史物語都市こうふ」の新たな歴史を築いていくという基本理念の骨子を表現するとともに、甲府の限りない可能性とさらなる発展をシンボライズしています。

### ｜ キャッチフレーズの説明 ｜

豊かな歴史を受け継ぎ、輝く未来をひらく姿をアピール。「絆」に甲府市の輪を連想しました。

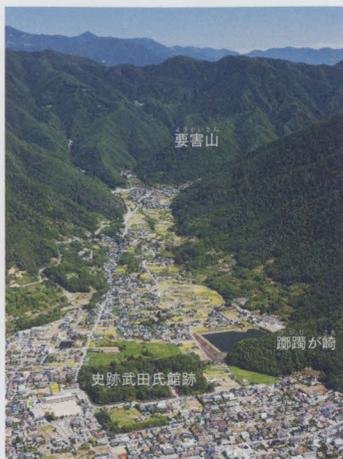
### ｜ キービジュアル24個の紋章の説明 ｜

表面に描かれた紋章は、「甲府」にゆかりのあるものがデザインされています。  
詳しくは、公式ホームページをご覧ください。



## 甲府のはじまり

永正16(1519)年、武田信玄の父、信虎は川田から躑躅が崎(現武田神社)の地へ館を移しました。周辺には有力国人衆や家臣たちを住まわせ、商職人町の設定や寺社の創建など大規模な城下町が整備されました。これにより甲斐の府中『甲府』が誕生しました。



## 武田三代



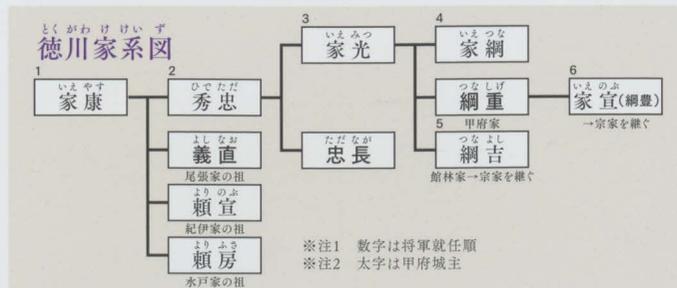
武田信虎  
(大泉寺所蔵)

武田信玄  
(武田神社所蔵)

武田勝頼  
(法泉寺所蔵)

大永元(1521)年、信虎の嫡男として晴信(後の信玄)が誕生。天文10(1541)年に甲斐の守護になると、釜無川に信玄堤を築き、金山の開発や交通網の整備など民政にも力を発揮するとともに、領国の拡大を図り優れた戦国武将として名を馳せました。信玄の第4子勝頼は高天神城攻略などの戦果を挙げましたが、長篠の戦いで敗れたことが転機となり、武田家は滅亡しました。

## 甲府城主から将軍に



甲府城は豊臣秀吉配下の浅野長政・幸長父子などにより今から400年ほど前に一条小山に築城されました。

関ヶ原の戦いに際し、甲府城主の浅野は徳川家康に属し、戦後幸長は紀伊国和歌山へ移封。代わって甲斐国は徳川家の直轄領となり、甲府城には江戸幕府3代将軍・徳川家光の三男・綱重を家祖とし、その子綱豊(のちの6代将軍家宣)の2代を指す甲府徳川家がおかれました。

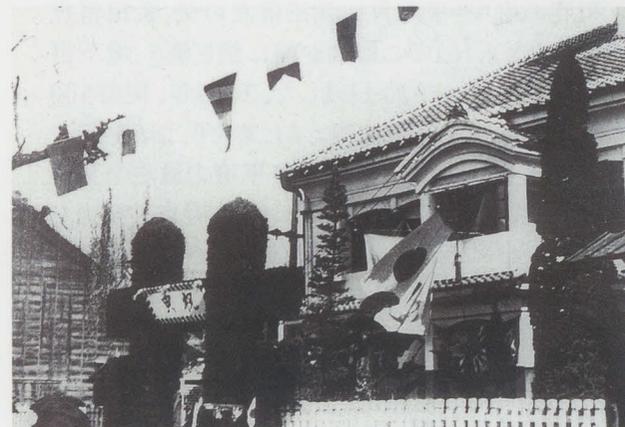
## 城下町甲府の発展



柳沢吉保  
(一蓮寺所蔵)

徳川綱吉側近の柳沢吉保が城主になると甲府城と城下町の再整備が積極的に進められ、大きく発展していきました。荻生徂徠が「人家は繁盛し、市街がよく整って商店に多くの品物が並び、人々の姿ふるまいもほとんど江戸と異なるところがない」と記していることから当時の繁栄がうかがえます。その後、享保9(1724)年に甲斐は幕府の直轄地となり、甲府城には勤番支配が置かれ、これを機に歌舞伎などの江戸の文化がもたらされました。

## 明治以降



市制施行当時(明治22年)の市庁舎

甲府市は明治22(1889)年7月1日に全国で34番目、関東では横浜、水戸、東京に次ぐ4番目となる市制を施行しました。豊かな自然の中に西洋風のオシャレな文化が根付いていた様子は、太宰治の著書『新樹の言葉』に記された一節「シルクハットを倒(さか)さまにして、その帽子の底に、小さい小さい旗を立てた、それが甲府だと思えば、間違いない。きれいに文化の、しみとおっているまちである。」からもうかがえます。

太平洋戦争の末期昭和20(1945)年7月には、甲府空襲により市域の74%が焦土と化し、古き良き時代の面影や多くの尊い人命が奪われました。しかし終戦直後には戦災復興局が設置され、市民一丸となって郷土の復興に立ち上がり、近代都市としての基盤整備が進められていきました。

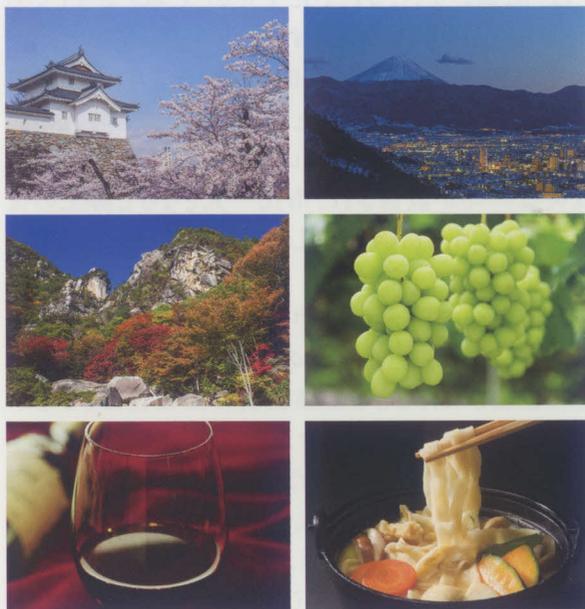
昭和46(1971)年には中央線の複線化、昭和57(1982)年には中央自動車道の全線開通など、交通網が急速に整備されたことで産業経済の活性化にもつながり、甲府は周辺町村の合併を重ね、平成12(2000)年には、特例市に指定されました。平成31(2019)年、甲府は誕生して500年という大きな節目を迎えます。そして平成31(2019)年4月には、中核市への移行を予定し、甲府は地方の中核都市として発展を遂げていきます。

## こうふ開府500年とは

甲斐の府中『甲府』は、武田信玄の父、武田信虎が1519(永正16)年に躑躅が崎に館を築き、城下町を整備したことから始まりました。2019年、開府500年という歴史的な節目を迎えるにあたり、この佳節を『こうふ開府500年』とし、改めて甲府の歴史を見つめ継承するとともに、訪れる方々にも甲府市の魅力を感じていただく機会となるよう取り組んでまいります。

## こうふ開府500年記念事業

500年の間には武田三代の戦国時代、柳沢吉保、吉里により城下の再整備が進められ「小江戸」とも呼ばれるほど繁栄した江戸時代、「洋風建築」が奨励された明治時代などがありました。このような多様な歴史・伝統・文化等を再認識し、次世代へ継承していくとともに、新たな甲府のまちづくりにつなげていくために「過去に学ぶ」「現在(いま)を見つめる」「未来につなぐ」を基本理念とした様々な記念事業を実施いたします。



## ご案内 イベントスケジュール(予定)

2018.12月現在

2018 12月20日~31日	開幕直前!!こうふ冬の陣~赤備え~ 日本最辛!赤備え食フェス(12月23日~24日) 前夜祭~開幕イベント(12月31日~2019年1月1日)
12月20日	武田信虎公像除幕
12月22日	リレーフォーラム2018
2019 3月2日	はっこうマルシェ
3月16日~5月13日	県都甲府の500年展
4月上旬	武田氏館跡歴史館オープン 賑わい創出事業(春)/信玄祭り こうふ開府500年記念式典
4月12日	武田二十四将騎馬行列
8月10日~11日	第4回「山の日」記念全国大会
8月11日	賑わい創出事業(夏)/小江戸甲府の夏祭り
10月下旬	賑わい創出事業(秋)/甲府大好きまつり・農林業まつり
11月下旬	「将棋の日」in甲府
12月中旬	リレーフォーラム2019
12月20日	NEXT100宣言イベント
12月以降	賑わい創出事業(冬)
2020 3月31日まで	常設展示メモリアルギャラリー



「aug!オーグ」アプリをダウンロードして  
24個のアイコンにかざして  
AR動画を楽しもう!

aug! 検索

STEP 1

無料アプリ  
「aug!オーグ」を  
ダウンロード

STEP 2

アプリを起動し、  
スマートフォンを  
対象にかざす。

STEP 3

お楽しみコンテンツが  
流れるよ!



### 【注釈事項】

※本アプリケーションにおける動作推奨環境は iOS 9 以上の iPhone5S & iPad3 以上  
Android搭載端末 OS 4.4 以上です。Androidの一部端末では動作しない場合があります。  
※Android端末では画面をタップするとカメラのピントが合う端末がありますので、ピントを合わせてからお試  
してください。  
※通信状況、端末、OSのバージョンなどによっては動作しない場合があります。  
※Apple、Apple logo、iPad、iPhone、iPod touch は米国 および他の国々で登録された Apple Inc. の商  
標です。  
※iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。  
※Android、Google Play、Google Play logoは、Google Inc. の商標です。  
※小さいアイコンの場合、かざしても反応しない場合があります。

## こうふ開府500年記念事業実行委員会

こうふ開府500年記念事業実行委員会事務局  
(甲府市企画部記念事業室内)  
〒400-8585 山梨県甲府市丸の内1-18-1  
TEL: 055-237-5321 / FAX: 055-220-6938  
E-mail: kaifu500@city.kofu.lg.jp  
ホームページ: <http://www.kofu500.com/>



公式HP



こうふ開府500年  
1519 - 2019



つなぐ歴史 かがやく絆 こうふ開府500年

甲府市・こうふ開府500年記念事業実行委員会